

令和4年度 石川県教育工学研究会 総会

令和4年5月28日（土）10：00より開催

- ① 開会宣言（事務局長）
- ② 挨拶（前年度会長 村井先生）
- ③ 議長選出

- ④ 令和3年度事業報告（飯田）
- ⑤ 令和3年度会計報告（清水先生、会計監査委員青江先生林先生）

- ⑥ 令和4年度会長選出（飯田）
- ⑦ 新会長挨拶
- ⑧ 令和4年度役員案、会則の改訂について（飯田事務局長）
- ⑨ 令和4年度事業計画の提案と審議（福田新事務局長）
- ⑩ 令和4年度会計予算の提案と審議（新会計飯田）

- ⑪ 閉会挨拶
- ⑫ 閉会宣言

事務局より

1. 令和3年度事業報告および収支決算

(1) 令和3年度事業報告について 資料1 参照

①総会・学習会

3年度の総会はオンラインで5月29日（土）に開催しました。
また学習会も6回全てZoomを使ってオンラインで開催しました。

第1回学習会

【テーマ】GIGAスクール構想の実現に向けた第一歩 ～各学校での活用普及に向けて～

【日時】令和3年5月29日（金） 19：30～21：00

【内容】

- 1) 事例提供 「〇〇校では現在どんな状況か」
- 2) グループワーク
 - ①校内状況の共有
 - ②活用促進に向けての一步
 - ③悩み共有
- 3) 全体共有

第2回学習会

【テーマ】「探究的な学びとタブレット端末の活用」 講師：西尾 環氏

【日時】令和3年7月3日（土）

【内容】

- 1) 事例提供「探究的な学びと情報端末の活用」と質疑応答
- 2) グループワーク（自分ごとにするためのワーク）
- 3) 西尾先生書籍アナウンス

第3回学習会

【日時】令和3年8月29日（日）10：00～12：30

【テーマ】「GIGA スクール構想への確かな歩みに向けて」

【内容】

- 1) 一人1台端末を活用した実践発表 50分
 - ①小学校事例 櫻井元太先生
 - ②中学校事例 北濱康裕先生
- 2) 端末活用についてのブレイクアウトタイム 20分
「一人1台端末どう使ってる？」みんなで交流 お悩み相談タイム
- 3) これからの端末活用に向けて 15分

第4回学習会

【日時】令和3年9月4日(土) 10:00~12:00

【内容】指導案検討

提案: 田上小 下倉 健先生 3年生算数科「10000より大きい数を調べよう」

第5回学習会

【日時】令和3年10月31日(日) 10:00~12:00

【内容】指導案検討

提案: 千代野小 久米田年雄先生 4年生国語科「世界にはこる和紙」

第6回学習会

【日時】令和4年1月29日(土) 10:00~11:00

【テーマ】「説明文の要約×デジタル教科書の活用」 講師: 野村真一氏

②年次大会・研究会での発表等

- ・北陸三県大会石川大会として開催し、22名の発表がありました。(石川からは12人発表)
- ・「研究紀要」は印刷をせず、pdfデータでWEBからダウンロードするようにしました。
- ・第47回全日本教育工学研究協議会全国大会大阪大会(11月19日20日オンラインでの開催)での発表者はありません。

③共催関連

○金沢大学授業力向上ゼミとの連携 授業力ゼミは、3回行われました。

第1回

- ・日時: 令和3年10月6日(水) 19:00~20:30
- ・テーマ: 「これからの子どもたちと創る授業、教師の役割」
- ・問題提起: あなたは「教師」の5つの呪縛にどう対峙しているか?
- ・講師: 放送大学 中川一史先生

第2回

- ・日時: 令和3年11月15日(月) 19:00~20:30
- ・話し手: 八崎和美先生 (といつもの皆様)
- ・テーマ: 「私の愛した実践」

第3回

- ・日時: 令和4年2月22日 18:30~20:00
- ・講師: 高知市立浦戸小学校の藤田由紀子校長
- ・テーマ: 全校で取り組む教科横断型探究(STEAM教育)
～コンテンツベースからコンピテンシーベースへの転換～

④理事および役員に委嘱状を発行

- ・今年度の総会後に、常任理事・理事・研究委員・会計監査に委嘱状を発行しました。

⑤会報100号記念誌の発行

- ・会報100号記念誌を作成しました。(希望者のみのお渡し)
- ・会員向けにはDVD-ROMにて配付しました。

(2) 収支決算について 資料2 資料3 参照

- ・資料2・資料3は、県への報告として提出したものです。
- ・県からの補助金は、320000円です。令和3年度は補助金の返却はしていません。
- ・コロナ禍の折、例年にもまして会費納入状況は芳しくありません。協賛金もほぼ見込めないため、厳しい状況が続きます。

2. 役員のおすすめについて 資料4 参照

(1) 令和4年度会長について

- ・令和4年度は会長を村井万寿夫先生の引退に伴い、金沢星稜大学の清水和久先生にお願いします。

※5月総会にて選出…会則第9条(1)による

(2) 令和4年度役員のおすすめについて

- ・お気づきの点をご指摘ください。
- ・事務局長を福田晃先生に交代します。
- ・理事および役員に委嘱状を発行し、それぞれの役割を意識してもらいます。

3. 令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)

(1) 令和4年度事業計画案について 資料5 参照

①総会、理事会について

- ・令和4年度総会は5月28日(土)
- ・理事会は3月年次大会(3月5日)の昼休憩中に短時間で行います。

②事務局の仕事内容について

- ・年間の行事を見通し、事務局各次長の仕事内容をはっきりさせて共有していきます。

③講演会・学習会について

- ・ニーズに合わせたテーマを年度当初に設定(研究部)し、学習会(共催含む)を計画します。会員の研修を深めるとともに、たくさんの集客と入会者増を目指していきます。
- ・第1回の学習会は例年のように総会時に行います。
- ・3ないし4つのグループを作り、対象を広げながら月1回のペースで活動をしていきます。
 - ・金沢未来の町創造館コラボレーション
 - ・ipad活用術
 - ・算数シミュレーション教材の作成
 - ・テディベアプロジェクト 等

④組織拡大・強化の取り組み、学会等について

- ・引き続き、石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、デジタル表現研究会、金沢大学授業力向上ゼミ、企業との連携も視野に入れ、会員の拡大を図ります。
- ・イベント告知用メーリングリスト、およびフェイスブックを引き続き活用し、より一層の充実を図ります。
- ・ホームページを活用し情報を共有しながら、より透明性のある会の運営を図ります。
- ・事務局の仕事内容を明文化して共有し、組織の強化に役立てます。事務局メーリングリストを活用していきます。(会長、副会長、事務局長、事務局次長(企画・組織拡大・会報)、研究部長・副部長、会計、研究委員)
- ・第48回全日本教育工学研究協議会全国大会(愛知・春日井大会)は10月28日(金)29日(土)、北陸三県教育工学研究大会は富山の開催です。

(2) 令和4年度予算について 資料6 資料7 参照

- ・図書費は「グループ」として活動費を設定しています。
- ・会費は、年度の途中入会は無料、次の年度から4000円を納めてもらいます。
- ・オンライン決済など会費を納入しやすくするための方法を探します。

令和3年度 事業報告

事業	期日	概要
1 総会 理事会	5月29日(土) 令和4年3月	令和3年度 総会(オンライン開催) ・令和2年度事業報告・決算報告 ・令和3年事業計画・予算案 令和3年度理事会(書面にて開催) ・令和3年度事業報告・決算中間報告 ・令和4年度事業計画・予算案 ・令和4年度役員案
2 研究事業	4月25日(日) 5月29日(土) 6月28日(土) 7月3日(土) 7月22日(木) 8月29日(日) 9月4日(土) 10月31日(日) 11月19日(金) 20日(土) 令和4年 1月29日(土) 1月29日(土) 3月7日(日)	○第1回事務局会 オンライン開催 ○第1回学習会 オンライン開催 「GIGAスクール構想の実現に向けた第一歩 ～各学校での活用普及に向けて～」 ○第1回事務局会 オンライン開催 ○第2回学習会 オンライン開催 「探究的な学びとタブレット端末の活用」 講師：西尾 環氏 ○第3回事務局会 オンライン開催 ○夏の研修会(第3回ICT活用拡大学習会) オンライン開催 「GIGAスクール構想への確かな歩みに向けて」 ○第4回学習会 指導案検討 提案：田上小 下倉健先生 ○第5回学習会 指導案検討 提案：千代野小 久米田年雄先生 ○第47回全日本教育工学研究協議会全国大会 大阪大会 オンライン開催 ○第6回学習会 オンライン開催 「説明文の要約×デジタル教科書の活用」 講師：野村真一氏 ○第4回事務局会 ○北陸三県教育工学研究会 石川大会 オンライン開催 ○令和3年度石川県教育工学研究大会
3 刊行事業	4月、6月、8月、10 月、12月、3月 7月、3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にて ニュースを掲載しています。 ○会報(101号、102号、B5版、24頁、150部) ○第46号研究紀要(pdfで配付) ○会報100号記念誌 DVD-ROMにて会員に配付

令和3年度 収支計算書

資料2

(1) 収入の部

科目	予算額	決算額
会員負担金	260,000	244,000
県補助金	320,000	320,000
賛助会費	60,000	0
雑入	20,000	0
会報100号記念誌 協賛金	0	96,000
合計	660,000	660,000

(2) 支出の部

科目	予算額	決算額	
補助対象経費	賃金	30,000	60,000
	謝金	20,000	20,000
	旅費	120,000	0
	消耗品費	5,000	10,000
	印刷費	300,000	385,000
	図書費	80,000	80,000
	通信運搬費	85,000	85,000
	借上料	0	0
小計	640,000	640,000	
補助対象外経費	20,000	20,000	
次年度繰越金	0	0	
計	660,000	660,000	

事業内容及び経費の配分（補助対象）

科 目		1 総会・ 理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	60,000		会報 100 号誌 DVD 作成 30,000	会報記念誌 30,000
謝 金	20,000		学習会講師謝金 10,000×2人	
旅 費	0			
消耗品費	10,000		事務消耗品 2,000 会報 100 号誌 DVD 5,000	事務消耗品 3,000
印刷費	385,000			会報 188,000 会報 100 号記念誌 197,000
図書費	80,000		研究奨励費（グループ） 80,000	
通信運搬費	85,000		郵便葉書 25,000	会報郵送 年 2 回 40,000 記念誌・DVD 郵送 20,000
借上料	0			
計	640,000	0	162,000	478,000

令和4年度 石川県教育工学研究会役員名簿 (案)

資料4

【会 長】 清水 和久 (金沢星稜大)

【副会長】

加藤 隆弘 (金沢大)

濱田 貴宏 (石川県小中学校視聴覚教育研究協議会会長・花園小)

【常任理事】

中野 淳子 (富陽小)

西田 素子 (小坂小)

今井 直人 (美川小)

嶋 耕二 (金沢錦丘中)

長田 博美 (栗崎小)

【理 事】

正來 洋 (松南小)

平瀬 方識 (金沢向陽高)

布川かほる (中能登町教育委員会)

西野 聡子 (新神田小)

【事務局長】 福田 晃 (研究部長兼務) [補] 飯田 淳一 (森本小) 村井美智子 (金沢大)

【事務局次長】 福田 晃 (企画担当：金沢大附属小)

細川都司恵 (会報担当：金沢星稜大) 海道 朋美 (会報担当：関西大学)

飯田 淳一 (Web 担当：森本小)

【研究部長】 福田 晃 (金沢大附属小)

【研究副部長】 荒木弥生子 (中央小芳斉分校)

【研究委員】

岡本 光司 (金大附属小)

武田 理恵 (北陸学院小)

北濱 康裕 (片山津中)

崎山 寛之 (桜丘高)

新出 真奎 (押野小)

下倉 健 (田上小)

櫻井 元太 (十一屋小)

竹村 宗矩 (北陸学院小)

羽場 史江 (森本小)

松本 聖菜 (苗代小)

【研究部アドバイザー】

細川都司恵 (金沢星稜大)

八崎 和美 (東湊小)

山下 雅美 (高松小)

山口 眞希 (放送大学大学院)

【会 計】 飯田 淳一 (森本小) 田口 優 (杜の里小)

【会計監査】 林 道雄 (金沢向陽高) 青江 弘義 (内灘町教育委員会)

【日本教育工学協会役員】 (理事) 清水 和久 (名誉理事) 吉田 貞介 村井万寿夫

【名誉会員】

紙谷 威

山本 昌猷

清丸 亮一

谷内 敏夫

藤井 昭久

押野 市男

南 千之

内田 正明

三田村英明

西田 政人

宇都宮 博

菖蒲田英夫

嶋 一馬

荒巻 雅博

【顧 問】 吉田 貞介

村井万寿夫

【指導委員】

太田 雅夫

小笠原喜康

黒上 晴夫

黒田 卓

堀田 龍也

山西 潤一

吉崎 静夫

赤堀 侃司

鈴木 克明

清水 康敬

堀口 秀嗣

中川 一史

稲垣 忠

小林 祐紀

佐藤 幸江

令和4年度 石川県教育工学研究会 事業計画 (案)

事業	期日	概要
1 総会 理事会	5月28日(土) 令和5年 3月5日(日)	令和4年度総会 ・令和3年度事業報告・決算報告 ・令和4年度事業計画・予算案 令和4年度理事会(於:金沢大学) ・令和4年度事業報告・決算中間報告 ・令和5年度事業計画・予算案 ・令和5年度役員案
2 研究事業	4月 5月28日(土) 7月 8月上旬 8月 10月上旬 10月28日(金) 29日(土) 12月 令和4年 1月下旬 3月5日(日)	○事務局会 ○第1回学習会 ○論文検討会 ○夏の研究会 (デジタル表現研究会と共催予定) ○論文検討会 ○第2回学習会 ○第48回全日本教育工学研究協議会全国大会愛知春日井大会 ○冬の研究会 (金沢大学授業力向上ゼミと共催予定) ○北陸三県教育工学研究会富山大会 ○令和4年度石川県教育工学研究大会
3 刊行事業	4月、6月、8月、10月、12月、3月 7月、3月 3月	○研究会ニュース 年間を通じ当会Webサイト http://i-kougaku.undo.jp/ にて ニュースを掲載しています。 ○会報(103号、104号、B5版、24頁、150部) ○第47号研究紀要(pdfにて配付)

令和4年度 石川県教育工学会予算(案)

(1) 取 入

	金 額	摘 要
会 員 負 担 金	260,000円	会費@4,000×65人
県 補 助 金	320,000円	
賛 助 会 費	60,000円	会費@10,000×6社
雑 入	15,000円	一日会員@1000×15人
計	655,000円	

(2) 支 出

	補助対象経費	補助対象外経費	計
賃 金	30,000		30,000
謝 金	60,000		60,000
旅 費	120,000		120,000
消耗品費	20,000		20,000
印 刷 費	170,000		170,000
図 書 費	180,000		180,000
事務連絡費	0		0
通信運搬費	50,000		50,000
借 上 料	10,000		10,000
組織加盟金		10,000	10,000
諸 会 合 費		5,000	5,000
計	(b) 640,000円	(c) 15,000円	(b)+(c)=(a) 655,000円

令和4年度 事業内容及び経費の配分（補助対象）（案）

科目名		1 総会・理事会	2 研究事業	3 刊行事業
賃 金	30,000		村井事務 30,000	
謝 金	60,000	講演会講師謝金 20,000×1人	学習会講師謝金 20,000×2人	
旅 費	120,000		全国大会発表者・理事派遣 30,000×4人 120,000	
消耗品費	20,000		コピー代・資料代 5,000 事務用品 12,000	タックシール 角封筒 3,000
印刷費	170,000			会報 170,000
図書費	180,000		学習グループ研究奨励費 45,000×4グループ	
事務連絡費	0			
通信運搬費	50,000		郵便葉書 20,000 サーバー維持費 6,000	会報郵送 24,000
借上料	10,000		会場費 10,000	
計	640,000	20,000	423,000	197,000

石川県教育工学研究会会則

第1条 本会は、石川県教育工学研究会と称する。

第2条 本会の事務局は金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センターにおく。

〔目的〕

第3条 本会は石川県の教育の振興をはかるために、新しい時代に即応した教育方法・技術の研究開発ならびに情報の交換を行うことを目的とする。

〔事業〕

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 教育工学研究大会等の開催
- (2) 研究会・講習会・講演会等の開催
- (3) 教育メディアの開発・利用に関する研究
- (4) 教育システムに関する開発および研究
- (5) 授業改善に関する研究および教材開発
- (6) 教育工学に関する共同研究の助成
- (7) 国内並びに外国との教育工学に関する情報交換
- (8) 研究紀要・機関誌・図書等の発刊
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

第5条 本会の目的および事業に賛同し、協力するものをもって会員とし、次のように区別する。

- (1) 一般会員 (2) 名誉会員 (3) 賛助会員
- (4) 学生会員

第6条 本会に顧問および指導委員をおくことができる。

〔支部〕

第7条 本会の事業を円滑にするため支部をおくことができる。

〔役員〕

第8条 本会に次の役員をおく。

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 | (7) 研究部長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 | (8) 研究副部長 | 2名 |
| (3) 常任理事 | 若干名 | (9) 研究委員 | 若干名 |
| (4) 理事 | 若干名 | (10) 会計 | 2名 |
| (5) 事務局長 | 1名 | (11) 会計監査 | 2名 |
| (6) 事務局次長 | 3名 | | |

〔役員を選出〕

第9条 役員を選出は次のようにする。

- (1) 会長は総会において選出する。
- (2) 副会長・常任理事・理事・会計は、会長が委嘱する。
- (3) 事務局長および事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員、運営委員は、理事会において推薦し、会長が委嘱する。
- (4) 会計監査は、会長が委嘱する。

〔役員の仕事〕

第10条 役員の仕事は次のように定める。

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- (2) 副会長は会長を補佐する。

- (3) 事務局長は本会の事務を統括する。

- (4) 事務局次長は事務局長を補佐し、本会の運営に関する企画・立案にあたる。

- (5) 常任理事・理事は、本会の運営についての重要事項を審議する。

- (6) 研究部長・研究副部長・研究委員は、本会の事業を推進する。

- (7) 会計は本会の会計の処理にあたる。

- (8) 会計監査は本会の会計経理の監査にあたる。

〔役員の仕事〕

第11条 役員の仕事は1年とする。ただし再任をさまたげない。

〔理事会〕

第12条 理事会は必要に応じて会長が召集する。

〔事務局〕

第13条 事務局は、事務局長、事務局次長、研究部長、研究副部長、研究委員をもって構成し、必要に応じて事務局会をもつ。

〔総会〕

第14条 総会は年に1回開催し、会長がこれを召集し、次の事項を審議、承認する。

- (1) 会長の選出
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 事業計画ならびに報告
- (4) 会則の改正
- (5) その他必要事項

〔会計〕

第15条 本会の会計は会費、賛助会費、補助金、寄付金その他をもってあてる。

〔監査〕

第16条 本会の会計経理は会計監査による監査を受けなければならない。

〔会計年度〕

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

〔名誉会員〕

第18条 名誉会員は次のようにする。

- (1) 名誉会員は、本会の貢献者を理事会で推薦し、総会で承認をとるものとする。
- (2) 名誉会員は終身制として理事会に進言できる。

〔細則〕

第19条 本会則の実施に必要な細則は理事会において定める。

〔付則〕

昭和45年6月21日会則施行

昭和56年5月24日改訂

昭和59年5月20日改訂

平成12年5月28日改訂

平成15年5月25日改訂

平成24年6月2日改訂

平成29年5月28日改訂